

6～9月出し電照栽培に適する夏秋スプレーギク白色新品種「サザングレイス」の特性

白色新品種「サザングレイス」は、半八重咲きの花容で、高温長日開花性に優れ、6～9月に安定出荷が可能

背景・目的

- ・既存品種の白色「サザンペガサス」は、高温時に開花の遅延や品質が低下するため改善が必要
- ・夏の高温の影響を受けにくく、花容・草姿が優れる白色の新品種が必要
- ・産地は、低温期の栽培でも、花卉へのアントシアニン色素を発色しない、幅広い作型で栽培可能な品種育成を要望

成果の内容

【品種の特徴】

- 花色は白色で、花卉数が多く半八重咲きで、切り前では露心しない 夏秋スプレーギク品種群では珍しい花容
- 6～9月出しのいずれの作型でも、到花日数は50日程度で安定している
- 6月出しの低温期作型で、「サザンペガサス」や「サザンサマーホワイト」で見られる蕾や花卉へのアントシアニン色素の発色がない

「サザングレイス」の作型毎の生育開花特性 < 令和4年度 農開セ >

作型 ¹⁾	品種名	50% 収穫日 (月/日)	到花 ²⁾ 日数 (日)	収穫時 草丈 (cm)	85cm ³⁾ 切花重 (g)	有効花数 (輪)		フォー メー ション
						1次	2次	
6月 出し	サザングレイス	6/16	49	133	64	12	1	B
	サザンペガサス	6/19	52	126	62	10	1	B
	サザンサマーホワイト	6/10	43	114	64	12	0	B
8月 出し	サザングレイス	8/7	51	126	97	11	2	B
	サザンペガサス	8/16	60	132	67	9	0	B
	サザンサマーホワイト	8/7	51	126	75	11	3	B
9月 出し	サザングレイス	9/6	48	103	94	13	1	B
	サザンペガサス	9/16	58	111	54	10	3	B,C
	サザンサマーホワイト	9/9	51	104	64	13	8	B

注1) 6月出し: 定植3/24, 摘心4/4, 消灯4/28 8月出し: 定植5/13, 摘心5/23, 消灯6/17

9月出し: 定植6/17, 摘心6/25, 消灯7/20

2) 到花日数は、消灯日から50%収穫日に達した日数

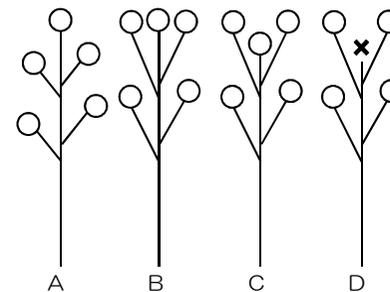
3) 頂花が完全開花した時に採花し、下葉を20cm除去した時の切り花重

4) フォーメーションは、右図を参照



8月出しでの開花比較

左から、「サザンサマーホワイト」,
「サザングレイス」, 「サザンペガサス」
消灯後58日目比較



フォーメーション

期待される効果

- ① 市場性の高い白色品種であるため、有利販売ができる
- ② 到花日数が短く、変動も小さいため、計画的な出荷ができる



「サザングレイス」の
花容・草姿

○普及対象・範囲
県内スプレーギク生産者

鹿児島県農業開発総合センター
果樹・花き部 花き研究室